

九州ICT イノベーション セミナー 2025

開催日 2025年 **11/26** (水)

時間 13:30～17:00 (13時開場)

会場 JR博多シティ会議室10階大会議室
(福岡市博多区博多駅中央街1番1号)
＜定員100名＞

オンライン配信 YouTube ＜定員なし＞

参加費 無料

○プログラム

13:30-13:35	開催挨拶：総務省九州総合通信局 局長 中西 悦子
13:35-14:20	【研究・教育機関講話】 演題：「ICTによる大変革期を前に思うこと」 講師：北陸先端科学技術大学院大学 副学長 教授 丹 康雄 氏
14:20-15:05	【民間企業事例紹介】 演題：「AIの社会実装に向けたソフトバンクの取り組み」 講師：ソフトバンク株式会社 法人統括 AIプラットフォーム開発本部 クラウド・AIサービス第1統括部 統括部長 鈴木 邦佳 氏
15:05～15:15	休憩
15:15-15:55	【ICT研究事例発表】 演題：「山岳・中山間地域における通信上の孤立を防ぐレジリエントIoTシステムの研究開発」 講師：信州大学 情報・DX推進機構 准教授 単 麟 氏
15:55-16:35	【NICT研究開発紹介】 演題：「『今だけ・ここだけ・あなただけ』で創る大容量通信サービスのエコシステム～自律型モビリティと超スポット通信が融合するCPSサービスの研究開発～」 講師：NICT Beyond 5G研究開発推進ユニット ソーシャルICTシステム研究室長 荘司 洋三 氏
展示デモコーナー 16:35～17:00 ・レジリエントIoTシステムに関する展示 ・NICT Beyond 5G研究開発推進ユニットによる展示デモ	

●申込方法 参加希望の方は11月18日(火)17時までに下記URLもしくは
二次元コードからお申し込みください。

参加URL：<https://www.kiai.gr.jp/n-runner/R7/runner03.html>

九州ICTイノベーションセミナー



●お問い合わせ先 九州総合通信局 情報通信部情報通信連携推進課
TEL：096-326-7319 Email:renk@ml.soumu.go.jp

共催：総務省九州総合通信局／国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）／
一般社団法人九州テレコム振興センター（KIAI）

後援：一般社団法人九州経済連合会／九州商工会議所連合会／

一般社団法人電子情報通信学会九州支部／公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）

協賛：九州電波協力会

講演内容

演題：「ICTによる大変革期を前に思うこと」

講師：北陸先端科学技術大学院大学 副学長 教授 丹 康雄 氏

ここ数年話題を振りまいている生成AIは突然現れたものではなく、螺旋状に発展してきたICTの必然的な成果である。本講演では過去から未来のICTの発展について概観し、マイルストーンを確認するとともに、今までとは異なる未来のあり方も含めた将来像、また、将来に向けて今から検討を始めるべき課題などについて述べる。

演題：「AIの社会実装に向けたソフトバンクの取り組み」

講師：ソフトバンク株式会社 法人統括 AIプラットフォーム開発本部
クラウド・AIサービス第1統括部
統括部長 鈴木 邦佳 氏

ソフトバンクではAI技術を活用することでさまざまな社会課題を解決するための取り組みを積極的に進めている。本講演では、ソフトバンクが推進するAIの社会実装に関する具体的な活動として、国産LLM「Sarashina」やソブリンククラウド、大規模データセンターについて紹介するとともに、未来に向けたビジョンについて提示する。

演題：「山岳・中山間地域における通信上の孤立を防ぐレジリエントIoTシステムの研究開発」

講師：信州大学 情報・DX推進機構 准教授 単 麟 氏

山岳・中山間地域では、地理的制約やインフラ不足により通信孤立が発生しやすく、災害時には情報伝達が困難となる。本講演では、これらの地域特有の課題解決を目指したIoTシステムの研究開発について紹介するとともに、信州大学及び信州DXコンソーシアムにおける活動や取り組み事例についても併せて紹介する。

演題：「『今だけ・ここだけ・あなただけ』で創る大容量通信サービスのエコシステム～自律型モビリティと超スポット通信が融合するCPSサービスの研究開発～」

講師：NICT Beyond 5G研究開発推進ユニット
ソーシャルICTシステム研究室長 荘司 洋三 氏

Beyond 5G社会において活躍が期待されるロボットやドローンなどの自律型モビリティと、ミリ波・テラヘルツ帯を活用した融合通信システムの研究開発を我々は推進してきた。これらの取り組みを通じて明らかになったのは、Beyond 5G時代の大容量通信サービスの普及には、「今だけ・ここだけ・あなただけ」といった局所的かつ高付加価値な通信ゾーン（超スポット）を、従来の「いつでも・どこでも・だれとでも」型ネットワーク上に戦略的に分散配置することが鍵であるという点である。

本講演では60GHz帯SoC（System-on-Chip）を搭載したロボットやドローンによるデータ集配信システムの実証デモを中心に、こうした超スポット通信を核とした大容量通信サービスのエコシステム化に向けた研究開発の取り組みと今後の展望について紹介する。